毎日にわくわく ドキドキ、楽しさいっぱい！心がおどる学校

湯本小学校だより

令和５年１１月２０日（月）　第１４号　発行者：湯本小学校長　柳沼信之

天栄村教育ポータルサイト
（湯本小 HP）

裏磐梯　檜原湖周辺の植物・動物を探る

11 月 17 日（金）、北塩原村の檜原湖周辺で森林環境学習と特定外来生物の調査を行ってきました。同行してくださったのは、湯本　森・里研究所の　星　昇氏　と　岩崎　雄輔氏　のお二人。そして、北塩原村教育委員会からも　五十嵐　悟氏が講師を務めてくださいました。なんとも贅沢な講師の方々です。

冷たい雨降る中でしたが、湯本地区との共通点・相違点を確認しながら学びを深めました。

磐梯山の噴火によってできた湖沼群が広がる北塩原村の檜原湖周辺。二岐山もかつての噴火により、現在の形になりました。山の噴火は同じでも、広がる景色や植生には違いが見られます。

大きな松の木、何年経っているでしょうか？

実は、1888 年の磐梯山噴火により、この周辺の木々は大きな被害を受けたそうです。

だから、今ある木々は、噴火後 135 年の間に生えたものだそうです。

レンゲ沼周辺では、二岐地区にあるようなブナやミズナラは、確認することができませんでした。でも、同じ木もありました。

特定外来生物の「ウチダザリガニ」の観察。小川の底を網ですくったら、短時間でもたくさんのウチダザリガニを捕まえることができました。雑食性のこのザリガニは、生態系に影響を及ぼしています。湯本地区にも外来植物が生えています。

今後、子どもたちはどうすることが必要なのかを考えて行動していきます。